

国道・県道の整備が進んでいます



▲整備の進む必佐バイパス

「必佐バイパス」 今年度竣工 「蓮花寺バイパス」 道路工事着工

県の道路事業として、「必佐バイパス（国道477号）」の道路改良事業があります。これについては、三十坪上区と増田区間の工事が順調に進み、平成23年3月の工事完了、供用開始を目指しています。

また、「国道477号」での、歩行者（中学校通学者）のための交通安全対策の歩道整備事業についても、山本区地先で、工事が進み、一定の区間が完成しました。今後は、小御門区内での『歩道末整備区間』での歩道設置に向けて、昨年度の概略測量調査に続き、詳細設計・用地測量へと進むよう、町では、その整備を県に強く要望しています。

現在、「県道桜川西中在寺線」は、西桜谷地区の蓮花寺区を通過しています。しかし、蓮花寺区内では、歩道もなく、大型トラックの交互通行も困難なくらい道路幅員も狭くなっています。沿道には家屋も連なり、近年の通行量の増加による振動・騒音の問題も発生しています。そのため、その安全・安心対策として、早期のバイパス整備が望まれていました。

このようなことから、蓮花寺区の地権者から用地提供をいただき、関係各位のご協力により、このたび、工事着工となりました。

このバイパス道路は、平成24年3月の工事完了（供用開始）に向けて、工事が始まりました。



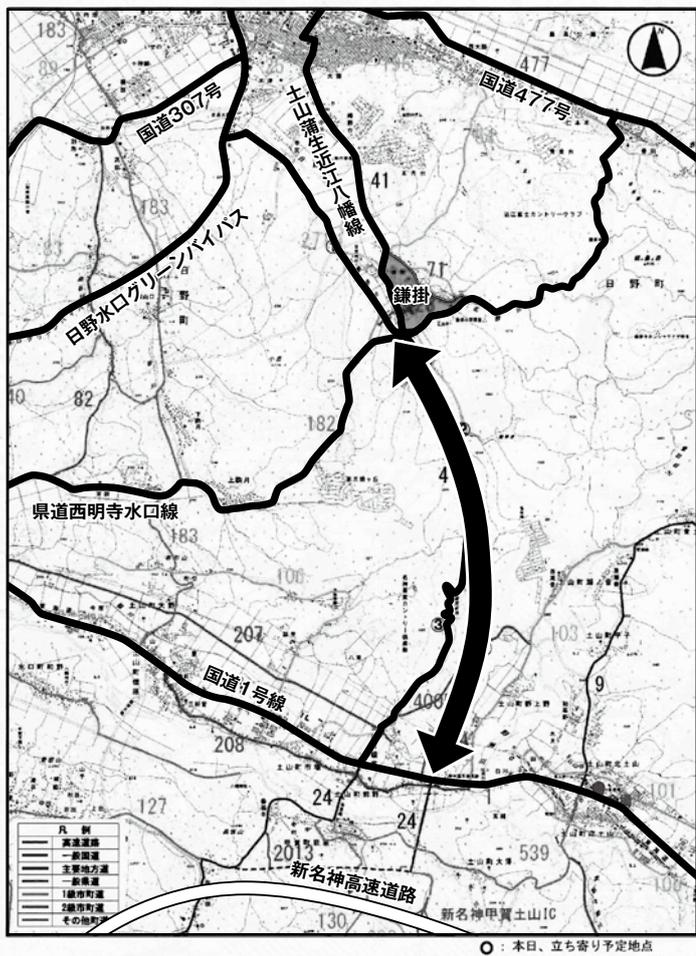
「日野町の 新たな玄関口」へ

その昔、県道土山蒲生近江八幡線は、「御代参街道」と呼ばれ、東海道と中山道を結ぶ主要な街道で、往時は大いににぎわいました。

県の道路整備アクションプログラムに、県道土山蒲生近江八幡線の改良計画が組み入れられ、昨年度から、その整備方針を決める「頓宮鎌掛道路ルート検討会」が設立され、地域（鎌

掛区・頓宮区）や行政（東近江・甲賀両土木事務所）、交通（東近江・甲賀両警察署）などから選出された委員によるルート検討が始まりました。

この検討会では、道路改良の整備方針として、新名神・甲賀土山インターチェンジへのアクセス道路としての方向性が示されました。今後、この道路が整備されれば、日野町の新たな玄関口となります。企業誘致や観光誘客などにも効果が期待でき、日野町の将来の発展の基盤となります。



▲第2回 頓宮鎌掛道路ルート検討会 資料

◆問い合わせ先 建設計画課 道路河川担当 ☎6561 有線⑤7763

就任あいさつ

4月2日付で、**奥村薫教育長が就任**しました



おくむらかおる
 いただけるならばと考えている次第です。

町村合併55周年を迎えた今年、3月には日野中学校の竣工式が挙行されました。幼稚園、小・中学校の新学習指導要領も次々と完全実施となります。不易も大切にしつつ、新しい状況にも適切に対応する必要があります。

このたび、教育長という重責をお預かりすることになり、責任の重さに身の引き締まる思いをしております。

今日まで、鎌掛小学校も含めて日野町内の6つの小学校と学校教育課に勤務させていただきました。皆様方の多大なご支援ご協力のお蔭で教育に専念させていただくことができました。とに心から感謝申し上げます。

ご承知のように、とてもそのような器ではなく歴代の教育長の足下にも及びませんが、これまでの経験で少しでもお役に立てることがあり、恩返しをさせ

今、教育や子育てをめぐる状況は大変厳しいものがあり、また、日野小学校区への児童の集中や、給食施設の検討、不登校や生徒指導上の課題、学力向上と人権教育、生涯学習の振興など課題は多い中ですが、学校・園、家庭、行政、そして地域の皆様の四輪駆動で「人と人のきずな」を大切に日野町の教育行政を進めてまいりたいと考えております。皆様のご指導ご鞭撻をぜひともよろしくお願い申し上げます。